

**コンゴ(民)月例報告**  
**政治関連**  
**2019年7月**

**主な出来事**

- 17日, WHO はコンゴ(民)のエボラ出血熱について「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言した。
- 20日, サンクル州で州知事・副州知事選挙の投票が行われ, 独立候補のムクマディ氏がメンデ国民議会議員を破って当選した。
- 22日, イルンガ保健相がエボラ対策をめぐり辞表を提出した。
- 27日, 上院議会事務局選挙が行われ, タンブエ前司法大臣が新上院議長に選出された。
- 29日, FCC と CACH の連立合意に係る協議の締結署名式が行われた。新内閣は65名から構成され, FCC に42ポスト, CACH に23ポストが割り当てられる。

**1. 内政**

**(1) 上院事務局選挙の動向**

- ・2日, 議会多数派プラットフォーム「FCC(Front Commun du Congo, コンゴ統一戦線)」の倫理的権威(Autorite Morale)であるカビラ前大統領は, タンブエ上院議員(前司法相)を上院議長候補に指名した(2日付 FCC ツイッター)。
- ・9日, FCC は, 同プラットフォームに所属するAFDCの倫理権威であるバハティ上院議員(前計画相)が FCC の決定に反して自らも上院議長選挙への立候補を表明した件に関し, バハティ議員を FCC から無期限の除名とした(9日付 AFP)。
- ・27日, 上院議会事務局選挙が行われ, FCC の推薦を受けたタンブエ前司法大臣が新上院議長に選出された。第一副議長ポストについては, 大方の予想を裏切り, バディバンガ前首相が FCC 推薦のボシャブ元内相を破って当選した。

**(2) キンシャサーブラザヴィル間の架橋工事と中央コンゴ州ボマの深水港の優先順位**

- ・2日, チセケディ大統領は滞在中のイツリ州ブニヤで行った記者会見で, 「キンシャサーブラザヴィル間の架橋工事に先んじて, 中央コンゴ州ボマの深水港の建設が行われるべき」と発言した(2日付 Politico.cd)。

**(3) 国民議会議員等の憲法裁判所による当選取消決定に関する動き**

- ・4-5日, 憲法裁判所は, 6月に当選を無効と決定した野党所属議員23名の約半数の当選を再度有効とする決定を行った(6日付 AFP)。

**(4) チセケディ大統領の汚職対策**

- ・11日, チセケディ大統領は「アフリカ汚職対策の日」のスピーチで, コンゴ(民)の汚職対策のため, 近日中に「メンタリティ変容調整部」を大統領府に創設すると発表した。また, 州議会議員, 州知事及び上院議員選挙の選出方法に関する選挙法を改正する意図を示した(11日付 AFP)。

**(5) サンクル州知事選挙でメンデ前メディア相兼政府報道官が敗北**

- ・20日, サンクル州で州知事・副州知事選挙の投票が行われ, メンデ国民議会議員(前メディア相兼政府報道官)の8票に対し, 対抗馬である独立候補のムクマディ氏(Joseph-Stephane

MUKUMADI)が17票を獲得して当選した。

#### (6)キンシャサで政治的デモ行進が一週間の禁止

・21日、コンゴ(民)国家警察のカソゴ・キンシャサ州警察長官は記者会見で、政治的緊張の高まりを受け、ンゴビラ・キンシャサ特別州知事が翌週のキンシャサでのすべての政治的デモ行進を禁じたことを発表した。

#### (7)イルンガ保健相の辞任

・22日、イルンガ保健相が辞表を提出した。同大臣はその理由について、17日にWHOがコンゴ(民)のエボラ出血熱について「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言したことを受け、チセケディ大統領が20日にエボラ対策を大統領の直轄とすると発表したことに触れ、「指示命令系統への混乱を生じさせないため」と同日付のコミュニケで述べた。

#### (8)FCCとCACHの連立合意

・29日深夜、カビラ前大統領が倫理的権威を務める議会多数派プラットフォーム FCC と、チセケディ大統領陣営のプラットフォーム「CACH(Cap pour le Changement, 変化への方向)」の連立合意に係る協議の締結署名式及び記者会見がキンシャサ市内のホテルで行われた。FCCとCACHは共に連立政権の舵取りをすることで合意し、新内閣は65名(大臣48, 副大臣17)から構成され、FCCに42ポスト、CACHに23ポストが割り当てられる。また、署名した合意を実行するための委員会が設置された(30日付 RFI)。

#### (9)野党の動向

・10日、野党プラットフォーム Lamuka に現在残る5名の指導者のひとりであるマトウングル CNB 党首は、チセケディ大統領からアフリカ開発銀行幹部(Administrateur, 任期3年)に指名されたのを受け、同職務を引き受けるとともに、Lamukaの政治活動には距離を置くと同日付のコミュニケで発表した(12日付 Actualite.cd)。

・30日、Lamukaは執行部会議をルブンバシ市で開催し、ベンバMLC党首に調整役をバトンタッチした。今回の会議参加者はカトゥンビ Ensemble 代表、ムジト「Nouvel Elan」代表、ファユル ECiDe 党首、バザイバ MLC 幹事長の4名で、ベンバ党首は自家用飛行機の不調を理由に欠席した。

## 2. 外交

#### (1)ニヤシンベ・トーゴ大統領のコンゴ(民)訪問

・2日、ニヤシンベ・トーゴ大統領が二日間の訪問のためにキンシャサに到着した(2日付大統領府ツイッター)。

#### (2)チセケディ大統領とスチュアート英開発相の会談

・6日、エボラ対策の現状視察のため5日から北キブ州ゴマ市及びブテンボ市を訪れた英のスチュアート開発相は、チセケディ大統領のニアメへの出発前にンジリ空港で会談し、エボラ及び治安対策について協議した。

#### (3)チセケディ大統領のニアメ訪問

・7日、チセケディ大統領は、第35回 AU 首脳会議のためニアメを訪問した。

#### (4)チセケディ大統領とロウレンソ・アンゴラ大統領、ムセヴェニ・ウガンダ大統領及びカガメルワンダ大統領の四首脳会議

・12日、チセケディ大統領はロウレンソ・アンゴラ大統領の招きを受け、ムセヴェニ・ウガンダ大統領及びカガメルワンダ大統領と共にルアンダでの四首脳会議に参加し、地域の安定について協

議した。

#### (5)チセケディ大統領のアブジャ訪問

・26-27日、チセケディ大統領は、アブジャで開催されたトニー・エルメル財団(TEF)主催の第5回起業家フォーラムに出席するため、ナイジェリアを訪れた。同フォーラムにはまた、カガメ・ルワンダ大統領、サル・セネガル大統領、アデシナ・アフリカ開発銀行総裁等が出席した(26日付大統領府ツイッター)。

### 3. 東部及び大湖地域情勢

#### (1)イツリ州ジュグ地区

・1日、独立記念日のために6月30日からイツリ州ブニャを訪れていたチセケディ大統領は1日と2日、同州ジュグ地区を訪問した。同地区は武力による襲撃が横行し、国連 Relief Web によると、今年6月以降、同地区では少なくとも160名以上が殺害され、30万名以上が避難を余儀なくされている(2日付大統領府ツイッター)。

・23日、イツリ州のコンゴ(民)国軍(FARDC)関係者は、FARDC の攻撃を逃れた民兵によって、兵士1名がと市民6名が銃で殺害されたと述べた(23日付 AFP)。

・26日、アリンギ・ジュグ地区長は、25日から26日にかけて発生した襲撃で、市民5名が殺害され、2名が誘拐されたと述べた(26日付 AFP)。

#### (2)北キブ州ベニ地区

・21日、北キブ州のハズカイ FARDC 報道官は、20日から21日にかけてベニ地区のオイチャ及びエリンゲティ付近で ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)が2件の襲撃を行い、伝統的首長1名及び市民4名が殺害されたと発表した(21日付 AFP)。

・21日から22日にかけて、FARDC はベニ地区マグボコ(Magboko)で ADF 掃討作戦を行い、4名の民兵を殺害した。なお、市民2名も犠牲となった(22日付 AFP)。

・22日から23日にかけて、ベニ地区オイチャとエリンゲティで ADF みられる集団が2件の同時襲撃を行い、12名(うち子ども2名)の市民が銃で殺害された(23日付 AFP)。

#### (3)エボラ出血熱関連

・14日、コンゴ(民)保健省は、北キブ州ゴマ市で初のエボラ出血熱感染が1例確定されたと発表した(14日付 AFP)。(なお、同患者はゴマ市から罹患したブテンボ市までの移送中の15日に死亡した。)

・15日、コンゴ(民)保健省は、13日夜から14日にかけて、北キブ州ベニとブテンボの間で、地域のエボラ対策に従事する責任者2名が暗殺されたと発表した。同省によると、両者は2018年末から殺害予告を受けていた(15日付 AFP)。

・30日、北キブ州ゴマ市で、2例目のエボラ出血熱感染が確定された。なお、同患者は30日深夜に死亡した(30日及び31日付 AFP)。

#### (4)その他地区

・2日、南キブ州のカセレカ FARDC 報道官は、3日間にわたり実施された同州フィジ地区の3か所に割拠するマイマイ(自警団的な性格を持った武装集団)数集団(Yakutumba, Bibokoboko, Kabembwe, Tubuki)に対する掃討作戦で、FARDC はこれら集団が支配していた地域を掌握したと報じた。同作戦では民兵4名と FARDC 兵士1名が死亡した(2日付 AFP)。

・19日、南キブ州のカウジ・ビエガ公園当局は、17日に公園内の密猟を監視していたエコ・レンジャーがピグミー族の待ち伏せ攻撃を受けたと報じた。この攻撃でピグミー族1名が殺害され、レンジャー13名が負傷した(うち3名は重症)。同公園は野生ゴリラが生息することで知られている(19日付 AFP)。

- ・24日から25日にかけて、南キブ州フィジ地区での軍事作戦の応援のためにマニエマ州から向かっていた FARDC 部隊がマイマイの待ち伏せに遭い、兵士3名が死亡した(25日付 AFP)。
- ・27日、マニエマ州で、金探鉱を行う Banro 社(加)の車両が武装集団に襲撃され、外国人を含む同社の関係者が誘拐され、乗っていた車両が放火された(27日付 AFP)。

#### 4. その他

##### (1)国際刑事裁判所(ICC)がボスコ・ンタガンダに有罪宣告

- ・8日、国際刑事裁判所(ICC-CPI)は、2002-2003年にボスコ・ンタガンダがイツリ州で犯した戦争犯罪及び人道に対する犯罪について有罪を宣告した。ンタガンダは当時、市民への攻撃等を行った武装組織 UPC 及びその関連組織 FPLC の軍事責任者だった(8日付 ICC コミュニケ)。

##### (2)駐コンゴ(民)新 EU 大使の発表

- ・9日、EU は、駐コンゴ(民)新大使に仏外交官のシャテニエ氏(Jean-Marc CHATAIGNER)を指名した。新大使は9月に着任の予定。なお、2019年末にコンゴ(民)から強制退去となったウヴリー前 EU 大使は駐マリ大使に就任する(10日付 EU 代表部ツイッター)。

##### (3)WHO が「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言

- ・17日、WHO はコンゴ(民)のエボラ出血熱について「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言した。これを受けてチセケディ大統領は20日、今後はエボラ対策を大統領の直轄とすると発表した(20日付 AFP)。

##### (4)中国大使の離任

- ・29日、Wang 中国大使は、4年8か月の任期を終える離任の挨拶のため、チセケディ大統領を訪れた(30日付大統領府ツイッター)。